

第5章 大聖寺地域の方針

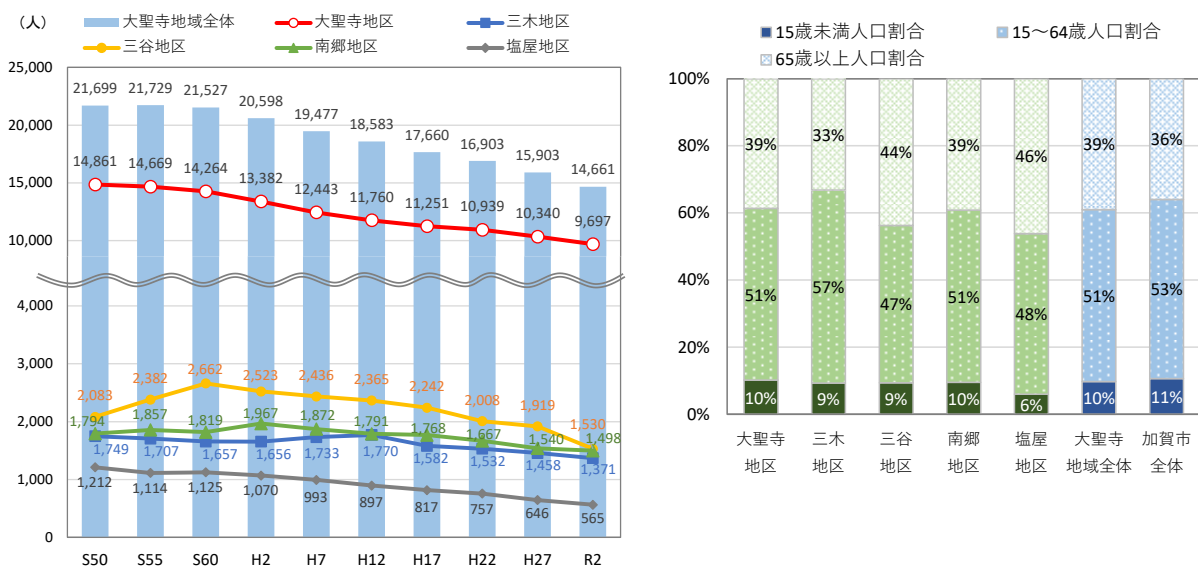
1) 大聖寺地域の現況及び課題

(1) 人口

大聖寺地域の人口は、昭和55年のピーク時から令和2年までの40年間で7,068人(33%)減少しています。

地区別の人口では、ピーク時と比較すると、大聖寺地区、三谷地区、塩屋地区の減少割合が高くなっています。

年齢別の割合について、市全体と各地区を比較すると、三木地区を除いたすべての地区で、老年人口(65歳以上)の割合が高くなっています。



(2) 地域の特徴

自然

大聖寺川が地域を流れ、錦城山や鹿島の森及び塩屋海岸の海浜植物群など、学術的にも価値の高い自然環境を有しているほか、山間部の里山で採取できる山野草が活用されています。

歴史・文化

北前船主が建てた学校や、大聖寺城跡、江沼神社長流亭、大聖寺山ノ下寺院群など藩政時代の歴史文化資産に加え、大聖寺市街地に町屋が多く現存するほか、御願神事、シャ шам シャ踊りなどの民俗文化が残されています。

都市基盤施設

大聖寺駅や加賀インターチェンジを有し、一般国道8号などの幹線道路が地域内を通っており、大聖寺道路(都大聖寺加賀温泉駅線)の整備が進められています。また、大聖寺市街地には、大聖寺ふれあい広場古丸谷の杜や錦城山公園など都市公園のほか、市役所、警察署、図書館などの公共施設が立地しています。

災害・防災

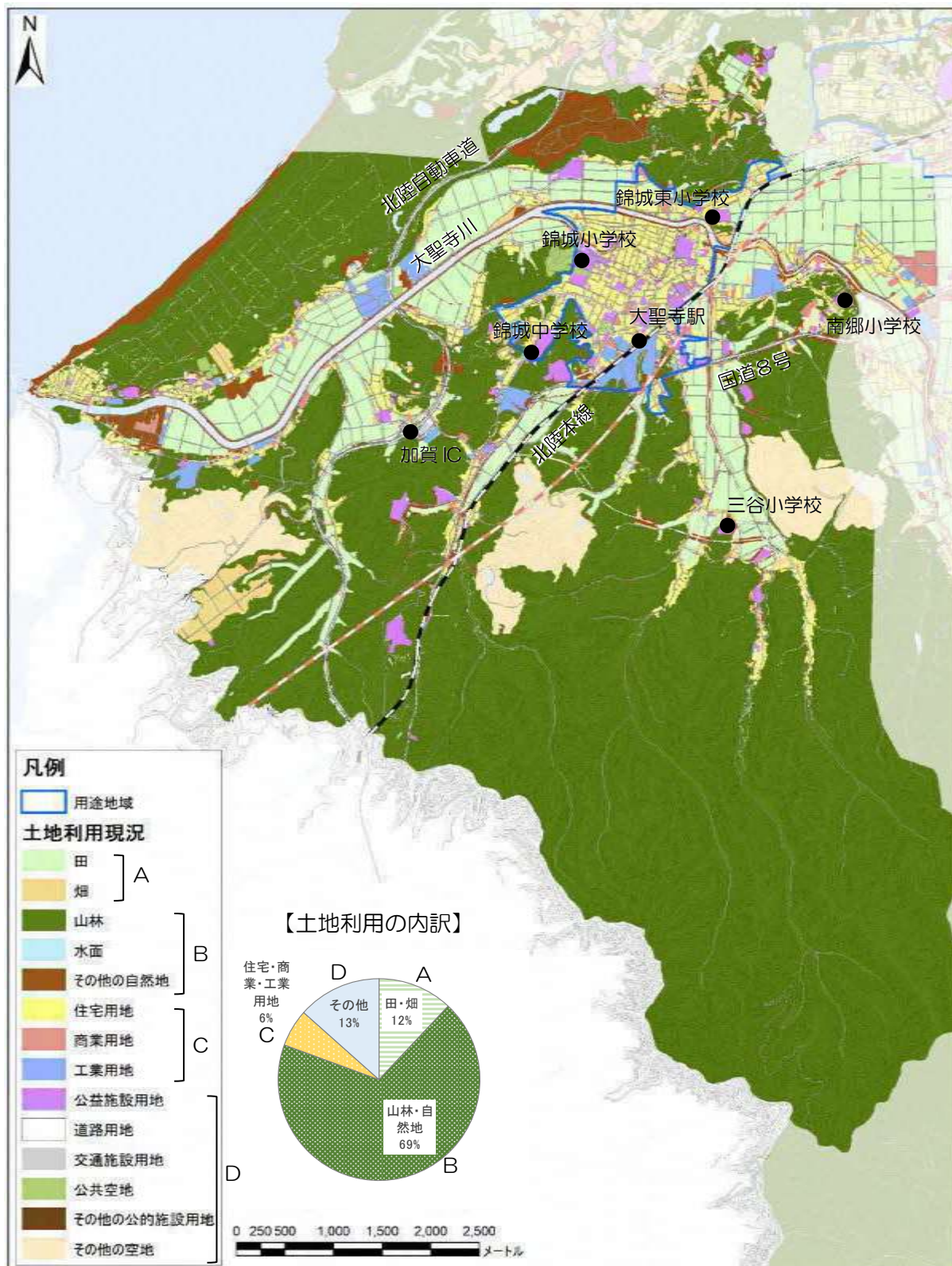
大聖寺市街地のほとんどが大聖寺川の浸水想定区域になっており、山間部には土砂災害特別警戒区域がみられます。

(3) 土地利用

市街地の南には一般国道8号と並行在来線が通り、大聖寺駅の北側に市街地が形成され、その外縁部には工場が立地しています。

旧大聖寺川が市街地内を流れ、大聖寺川に合流し福井県境で日本海にそそいでおり、海岸部は砂丘地の松林、地域南部は山林が広がっています。

【大聖寺地域の土地利用現況図】



(4) 市民アンケート調査による住民意向

豊かな自然が地区の魅力として挙げられており、住まい環境については、概ね満足されているほか、開発については、多少の宅地開発を容認する意見がある一方、ほぼ同じ割合で空き地空き家の活用が求められています。

工場については、住環境に影響がなければ地区内での立地を容認する意見が多いほか、商業施設については、特に問題ないという意見が多い一方で、周辺に生活必需品を扱う店舗が無くて不便との意見が挙がっています。

公園、緑、景観については、特に問題ないとの意見が多く、概ね満足されていることがうかがえます。道路については、雪に強い道路を求める意見が多く、防災・防犯については、特に問題ないという意見がある一方で災害対策を求める意見が挙がっています。

【地区の魅力】

①	自然が豊か	52%
②	特に思いつかない	24%
③	災害の心配が少ない	23%

【開発について】

①	農地等での多少の宅地開発はよい	38%
②	空き地・空き家を活用すべき	37%
③	積極的に宅地開発を行うべき	19%

【住まい環境について】

①	満足している	38%
②	災害が不安	32%
③	防犯・防災上不安	27%

【工場について】

①	住環境に影響がなければ地区内に工場があっても良い	45%
②	住環境に影響がなければ家の近くにあっても良い	22%
③	地区内には新たな工場の進出は望まない	21%

【商業施設の状況について】

①	特に問題ない	36%
②	生活必需品を扱う店舗が無くて不便	33%
③	徒歩圏に大型商業施設等があると良い	25%

【道路や交通施設について】

①	雪に強い道路が必要	45%
②	安全で快適な道路が必要	22%
③	特に問題ない	20%

【公園について】

①	特に問題ない	32%
②	地区のイベント等ができる公園が必要	25%
③	遊具・スポーツ施設等が充実した公園が必要	22%

【緑について】

①	特に問題ない	50%
②	里山や森の自然を保全すべき	27%
③	街路樹はこれ以上必要ない	14%

【景観について】

①	特に問題ない	56%
②	まちなみと調和した道路や街路樹により景観保全すべき	16%
③	白山連峰などの自然景観・眺望を保全すべき	15%

【防災・防犯について】

①	特に問題ない	23%
②	避難場所や避難路、災害対策が必要	23%
③	防犯カメラの充実	19%

(5) 地域別懇談会からみる住民意向

時鐘堂周辺などの無電柱化の推進や、大聖寺駅前駐車場の利活用のほか、高齢者の買い物などに対応したバスの運行内容の見直しが求められています。

また、防砂林の適切な保全のほか、大聖寺川沿いの防災対策の強化などが求められています。

【地域別懇談会で出された意見の要旨】

区分	出された主な意見
道路・公園	<ul style="list-style-type: none"> ○道路施設などの適切な維持管理 ○国道8号の早期4車線化をはじめ幹線道路等の整備が必要 ○橋立港線や旧都市計画道路等における、市民等が憩える道路空間の創出 ○熊坂から旧三木小学校への県道の歩道が狭い ○錦城山公園などの適切な維持管理 ○錦城山公園の動植物に配慮した整備や城郭の再生（観光資源として活用） ○民間活力を導入した公園整備 ○空き地の集約化や公園等として整備・活用 ○大聖寺駅前駐車場を市民の憩いの場として活用
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の買い物などに対応したバスの運行内容の見直し ○スマートフォンやケーブルテレビなどを活用した、のりあい号の情報発信 ○公共交通の情報一元化 ○地域間のバス直行便の新設
環境・景観	<ul style="list-style-type: none"> ○時鐘堂周辺など、無電柱化の推進 ○まちなかからの白山眺望景観の確保 ○空き家、廃校施設等の活用 ○歴史的まちなみの保全・活用 ○防砂林の適切な保全（松くい虫被害の早期対策、松の間引き） ○鹿島の森や旧海水浴場の公衆トイレなど、公共施設の維持管理・修繕
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の見直し及び周知 ○大聖寺川や小河川・水路の防災対策強化（草木の伐採、浸食対策、浚渫など） ○災害時における高齢者や外国人などへの対応強化 ○災害備蓄品の充実 ○子どもの防犯対策
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の整備 ○移住・定住、企業誘致を促す補助事業の情報発信 ○行政や商業等における早期ICT化 ○企業誘致や古民家活用による企業集積 ○加賀IC周辺での情報発信拠点の整備



(6) 大聖寺地域の課題

地域が抱える課題は、全体構想をはじめ地域の現況や住民意向などを踏まえ、体系的に整理して抽出します。

分類	地域の課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○定住促進をめざし、良好な住環境を保全しつつ、空き地や空き家を活用した、ゆとりある居住空間の創出 ○スマート化を意識した利便施設の誘導による市街地のコンパクト化
人口	<ul style="list-style-type: none"> ○定住促進と人口流出の歯止め ○高齢化や障がい者などに対応した都市施設のユニバーサルデザイン化 ○子どもが学びやすい教育環境の整備
都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ○国道8号の福井県境側の整備促進、地域拠点から福井県及び国道8号へのアクセス向上 ○大聖寺道路の整備促進や幹線道路の安全確保 ○道路施設の適切な維持管理と安全に通行できる魅力的な道路空間の創出 ○下水道区域の見直し ○鉄道の維持と大聖寺駅及びその周辺の賑わい創出 ○誰もが利用しやすい公共交通の再構築と情報発信 ○空き地の集約化や民間活力を導入した公園整備 ○既存公共施設の適切な維持管理 ○公共交通の利便性向上
自然	<ul style="list-style-type: none"> ○大聖寺川の水質改善と河川景観の保全 ○鹿島の森や塩屋海岸の海浜植物群などの自然環境の保全・活用と防砂林の適切な保全
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ○大聖寺山ノ下寺院群や江沼神社長流亭、大聖寺城跡や旧城下町などの歴史文化資産の保全・再生と活用 ○北前船主が建てた学校などの、歴史的まちなみを保全する居住環境整備 ○錦城山公園などの適切な維持管理 ○歴史的まちなみの保全・活用やまちなかからの白山眺望景観の確保
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○古民家活用などによる職住近接の企業集積や、地域環境に適した工場などの企業誘致による雇用の場の確保 ○加賀IC周辺にける情報発信拠点の整備検討
災害・防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○大聖寺川や小河川・水路の防災対策強化 ○土砂災害対策の推進 ○安全な避難所の確保と災害備蓄品の充実 ○高齢者や外国人にも分かりやすい避難対応の強化と周知 ○空き家対策や防犯灯等による防犯対策

2) 大聖寺地域の将来都市像

(1) 将来都市像

城下町の歴史と文化が薫る、住みよい賑わいのあるコンパクトなまち

大聖寺山ノ下寺院群や旧城下町などの歴史的な建築物や江沼神社長流亭などの貴重な文化資産のほか、美術館や図書館などの文化施設を多く有する地域として、歴史や文化が薫るまちなみの保全・形成と、便利で快適な、住みよく賑わいのある集約された市街地の形成を目指します。

(2) 実現に向けた基本方針

○城下町の歴史と文化の活用と継承

大聖寺山ノ下寺院群や旧城下町など、歴史的な建築物が立地する地域では、景観計画によるまちなみの保全と歴史的風致の維持を図るとともに、町屋の保全とこれらを活用したまちづくりにより、歴史や文化の薫る地域づくりを推進します。

○便利で住みやすい市街地の形成及び集落の活性化とコミュニティの維持

地域連携や地域資源を活かしたまちづくりに加え、教育施設をはじめとした生活に必要な施設の維持とスマート化を意識した利便施設の誘導により、まちなかへ居住を誘導します。また、市街地の外縁部においては工業機能の充実を図り、便利で住みやすい、職住が近接したまちづくりを推進して、コンパクトな市街地の形成を図ります。

郊外部の集落においては、周辺の開発を抑えるとともに、公共交通の確保や利便性向上のほか、地区のまちづくり活動の支援などにより、集落の活性化とコミュニティの維持を図ります。

○災害に強い市街地の形成と避難計画の充実

建物が密集する地区では、地域の生活利便性・防災性を向上するため、歴史的まちなみや町屋に配慮した上で、通過交通が生じない部分的な道路拡幅、排水路の改修、建物の不燃化・耐震化や防火対策及び公園・広場など公共空地の確保を進めます。

また、大聖寺川の防災対策のほか、水害に備え、災害時に使用できる避難所の確保、地域住民との情報共有、避難計画の充実を図ります。

○豊かな自然を守り活かすまちづくり

海岸や河川沿いの自然環境を保全するとともに、白山眺望の確保に加え、大聖寺川の水辺景観の保全と親水空間の活用を図ります。

○道路や公園等の都市基盤整備

まちなかの狭隘道路の対応や公園の充実など、都市基盤の整備により、住みやすい市街地環境を整えます。また、一般国道8号（都）加賀国道線（牛ノ谷道路）の4車線化や大聖寺道路（都）大聖寺加賀温泉駅線の早期完成により、地域間の連携強化を図ります。

3) 大聖寺地域のまちづくり方針

(1) 土地利用の方針

居住地区

城下町のおもかげを残す大聖寺市街地では、住民の日常利便性を確保しつつ町屋を利用した店舗併用住宅や事務所及び町工場などの小規模な商工業施設と共存を図るとともに、地域活力を生み出す産業機能の確保により定住を促進します。また、市街地に多く存在する空き家は、空き家バンクへの登録を推奨するとともに、積極的な活用を図り、特に傷みの激しい空き家は、管理者による撤去などの対策を促進します。

地域の生活利便性・防災性を向上するため、歴史的まちなみや町屋への影響に配慮した道路整備と、公園・広場など公共空地を確保します。また、大聖寺北部の住宅地においては、住居以外の建物の混在を抑制し、良好な住環境の保全を図ります。

沿道利活用地区

一般国道8号（(都)加賀国道線(大聖寺川～上河崎町南区間)）の沿道は、良好な景観保全や周辺住宅地と調和した適切な土地利用に配慮しつつ、交通利便性を活かした施設の立地を誘導します。

工業集積地区

大聖寺駅南側をはじめ大聖寺郊外に位置する工業地は、周辺住宅及び自然環境に配慮した拡張を推進し、加賀インターチェンジ周辺は、他県への良好なアクセスの活用と周辺の自然環境に配慮しつつ、商工業地としての機能充実を支援します。

田園・集落地区

漁村集落は、漁業振興を図るとともに、周辺の自然環境と調和した魅力的な地域づくりをめざし、農村集落では、周囲の田園や丘陵地と共存した集落の維持を図るとともに、周辺部の優良農地の開発を抑制します。

海岸保全活用地区

越前加賀海岸国定公園の塩屋海岸をはじめ、鹿島の森や加賀海岸自然休養林は、自然環境や景観の保全に努め、都市的な開発は禁止します。

丘陵保全活用地区

大聖寺の市街地を取り囲む丘陵地は、身近な里山として環境を保全するほか、ゴルフ場は、本市の重要な観光資源として、周辺の自然環境への影響に十分配慮しつつ、現状のエリアを維持します。また、梨などの農産物のブランド化や地産地消を推進し、地域の農業の振興を図ります。

山間保全活用地区

地域南部の山林では、環境保全に努めるとともに開発を抑制し、健全な森林整備により、里山資源による中山間地の活性化を図ります。

歴史文化地区

加賀市の歴史的風致の維持向上を図る上で欠かせない城下町大聖寺は、加賀市歴史的風致維持向上計画で定める重点地区において、優先的に歴史的風致維持向上施設の整備と適切な管理及び継承をし、その効果を市全域へ波及させていきます。また、大聖寺山ノ下寺院群や旧藩邸周辺など歴史的な建築物が立地する地区に加え、錦城山（大聖寺城跡）においては、歴史的風致の維持とともに歴史を活かした保全整備を行います。

大聖寺駅前をはじめとする市街地中心部では、商業機能や医療・福祉等の施設を維持し、生活する上で必要な機能の充実を図るほか、既存商店街は、地域住民の生活に密着した身近な商店街として、機能維持と魅力向上を図ります。また、地域に残る町屋は、魅力ある市街地づくりの推進とともに、店舗や事務所及び町工場など小規模な商工業施設と居住の共存を図り、地域活力を生み出す産業機能の確保により定住を促進します。

大聖寺川河畔の大聖寺瀬越町は、北前船主の館を中心に、歴史的環境の維持を図ります。

(2) 都市基盤整備の方針

(2-1) 道路の整備方針

幹線道路

福井県境までの一般国道8号（都加賀国道線(牛ノ谷道路)）の4車線化に向けた早期の完成を関係機関に働きかけ、広域的交流の促進や物流の円滑化のほか、豪雪・豪雨などの災害に強い交通の確保を目指します。また、一般国道305号(南郷町～吉崎町)及び主要地方道加賀インター線(熊坂町～三木町)、主要地方道橋立港線(小野坂トンネル)の線形改良や拡幅を関係機関に働きかけます。

大聖寺道路（都大聖寺加賀温泉駅線）の整備促進を関係機関に働きかけ、大聖寺地域と作見地域のアクセス性向上を図ります。

生活道路

市街地や集落における幅員の狭い道路や橋梁については、歴史的景観へ配慮しつつ、通学や防災、交通安全の面から優先度を定めて、順次道路の拡幅や線形改良、見通しの改善を行います。

自動車と自転車、歩行者の空間が混在している路線は、状況に応じた歩車空間の共有化により、それぞれの安全性を確保します。

まちなか道路

大聖寺市街地にある大聖寺山ノ下寺院群、錦城山公園、旧城下町の町屋群、菅生石部神社など、歴史・文化資源を巡る道路は、歩行者や自転車が楽しみながら散策できるルートとして位置づけ、安全かつ快適な道路空間の確保に努めます。

(2-2) 公共交通の方針

鉄道については、北陸新幹線の開業後、市民の足となる並行在来線の運行本数が維持されるよう、関係機関へ働きかけます。

バス交通は、大聖寺駅を結節点とした路線バス、観光周遊バス（キャン・バス）の維持及び市民利用の促進を図ります。

バス路線のない地区においては、デマンド交通の運行により運行本数やサービス内容の改善に努め、分かりやすい運行情報の提供や利用促進を図ります。また、地区の利用状況に応じ、停留地点、運行本数などを見直し、MaaS などデジタル技術を活用することでサービスの質向上を図ります。

(2-3) 公園・緑地の整備方針

大聖寺ふれあい広場古九谷の杜は、多世代交流や自然にふれあう場としての機能の充実を図るほか、錦城山公園は、大聖寺城跡としての歴史を継承し、市街地に潤いと安らぎをもたらす公園として、史跡の保全・活用を図ります。また、江沼神社庭園は、池や園路等の改修整備により大聖寺藩邸跡周辺の一体的な復元整備を目指します。

本地域では、街区公園や近隣公園、その他の身近な広場等が整備されており、利用者ニーズの対応と、ユニバーサルデザイン化による利用しやすい公園の充実を図ります。

これらの公園・緑地・広場の維持管理は、地区住民等によるアドプトプログラムでの維持管理を促進し、施設の適正管理と地区住民の愛着醸成を図ります。

(3) 環境保全・形成の方針

自然環境の保全

越前加賀海岸国定公園内の鹿島の森や加賀海岸自然休養林に加え、海浜植物群が生育する砂丘地などは、貴重な自然資源として保全・再生に努めます。また、大聖寺川をはじめとする河川や、地域内に点在するため池などにおいては、生態系に配慮した水辺環境整備を推進するほか、下水道の加入などの促進により、生活排水による河川の水質の悪化を防止します。

山間部の森林は、水源を涵養するとともに動植物の生息地であるため、保全に努め、自然観賞・休養やレクリエーションの場としての活用を目指すほか、里山で採取できる山野草の活用を図ります。

集落周辺の丘陵地や平野部の里山、農地は、動植物の生息地及び水源の涵養地として、保全を図ります。

生活環境の保全・形成

市街地の良好な環境と景観が維持されるよう、地域住民が主体となった美化活動の推進や作業の効率化を支援するほか、夜間まで営業する店舗や施設などは、適切な場所への立地を誘導します。工場については、近隣への騒音、振動などの影響が最小限となるよう、定期的な確認や改善指導等を行い、周辺の居住環境の保全を図るほか、北陸自動車道沿いにおいては、集落への騒音対策を関係機関へ働きかけます。

また、市民や事業者の理解と協力を得ながら、民有地における緑の保全と育成を図るほか、河川や道路の緑を軸として、住宅地や商店街などは生け垣設置や緑化により、沿道空間の緑のネットワークの形成を誘導します。

農林業に有害な動物の出没がみられる地区においては、農地などを害獣から守る柵の設置や必要に応じた捕獲により、農林業被害の防止や生活環境の保全に努めます。

(4) 景観保全・形成の方針

自然景観

越前加賀海岸国定公園の鹿島の森や、集落の後背丘陵地及び山間部は、森林景観の保全を図るほか、重要文化的景観に選定されている海岸沿いの地域では、砂浜、松林、集落、水田及び大聖寺川で構成される景観を保全します。

また、大聖寺川など主要な河川では、水辺に親しみ、自然眺望を楽しむ景観の保全と創出を推進し、旧大聖寺川沿いは、まちなみに配慮した景観の規制・誘導します。

歴史・文化的、伝統的景観

城下町の歴史をもつ大聖寺では、大聖寺山ノ下寺院群や、江沼神社長流亭、菅生石部神社など、歴史的風致の保全や町屋の保全及び再生による景観形成を図るほか、錦城山公園(大聖寺城跡)は、整備に向けて関係機関と協議します。

また、文化財と周辺環境が調和のとれた景観整備として、散策路の整備、道路舗装の美装化を行い、良質な景観形成を図ります。

眺望景観

錦城山からの白山の眺望景観を保全するため、景観の阻害要因となる家屋等の規制・誘導を検討します。

市街地・集落景観

景観に関する地区のルールづくりを促進し、周辺の土地利用や自然環境に調和した意匠の統一と植栽推進や、空き家・空き店舗対策の推進により、良好な市街地景観の保全・形成を図ります。

農村集落周辺の里山・農地では、屋外広告物の抑制や農地の保全により、田園の景観保全を図るほか、漁村集落においては、漁業施設と住居などが調和したまちなみ形成を図ります。

(5) 防災・防犯の方針

災害の未然防止

丘陵・山間地の縁に沿って存在する土砂災害が懸念される箇所での防災対策をはじめ、塩屋海岸や加賀海岸自然休養林における防砂・防風対策、大聖寺川や地域内に点在するため池などの洪水対策など、自然災害の減災を図ります。

雪害対策では、北陸自動車道や一般国道8号(都加賀国道線)をはじめとした幹線道路の重点的な除雪を働きかけるとともに、通学路や生活道路の優先的除雪など、迅速かつ効率的な除雪体制を市民と協働で構築します。

被害抑制

地震や大火災などの大規模災害に備え、市庁舎などの災害避難拠点や避難場所となる公園などの防災機能強化に努めるほか、安全な避難経路の確立を図ります。

市街地の建物密集地では、建物の耐震化促進のほか、生活に必要な施設の耐震化整備や市街地及び集落における消防水利施設の充実を図ります。

交通安全・防犯

市街地における見通しの確保や自動車への注意喚起と速度抑制による交通安全を進めるほか、防犯灯の設置や老朽空き家の撤去の促進などにより、安全で安心なまちづくりを推進します。

【大聖寺地域のまちづくり方針図】

